



夏の日差しが降り注ぐようになりました。夏の風物詩といえば、花火がありますね。今回の特集は「花火の本」です。関連本が図書室にあるので、読んでみてはいかがでしょうか。

花火の本

「火花」 又吉直樹/著 文藝春秋 913/ま



売れない芸人の徳永は、熱海の花火大会でぐうぜん出会った先輩芸人の神谷に「神谷を忘れずに覚えていること」を条件に弟子入りしました。

2人の芸人哲学についての会話は人間としての生き方にもつながる話がいくつも出てきて考えさせられることがあります。

2015年に第153回芥川賞を受賞した作品です。夏休みの前に純文学をぜひ読んでみてください。

「花火の図鑑」 泉谷玄作/著 ポプラ社 57/い



皆さん、花火にもいろいろな種類があるのは知っていると思いますが、屋間にも使われる花火があることは知っていますか？

この本ではそのようなあまり知られていない部分も含めて、花火の作り方や、種類、打ち上げ方などを事細かに知ることができます。

夏の風物詩をより楽しむ知識が欲しい人は、ぜひ手に取ってみてください。

《他にもこんな本があります！》

・「知りたい！なりたい！職業ガイド 伝統美を表現する仕事」 ヴィットインターナショナル企画室/編 ほるぷ出版 進17/で

新着本紹介

「フリースタイル言語学」 川原賢人/著 大和書房 80/か



言語学という、言葉についての研究をしている作者の今までやってきた研究や、今気になっている言葉がどのように気になっているのかなどをつづったエッセイ本です。

ポケモンやプリキュアをはじめとした、私たちにとっても身近にある題材を使った研究を取り上げて、どんな研究をしたのかをわかりやすくユニークに書いているので、言語学というものにふれてみる、いいきっかけとなる本です。

《他にもこんな本があります！》

・「10代の「めんどい」が楽になる本」 内田和俊/著 KADOKAWA 15/う

休みを楽しむ博物館の本

「東京マニアック博物館」

町田忍/監修 メイツ出版 06/と



おもちゃ、イス、サッカー、物流など東京都内に所在している博物館の中でも「こんなものまで!？」となるようなマニアックな収集物の博物館が紹介されている本です。

簡単な地図や開館時間の情報も載っているの、気になるところがあれば出かけてみてはいかがでしょうか?

「東京大人のミュージアム」

井上健太郎/編 昭文社 06/と/21



この本では東京都にある入場料が無料となっているミュージアムを地域別に紹介しています。

それぞれのしせつを、写真ももちいで紹介しているので、特徴や見どころがよりわかりやすくなっています。身近な場所で気になるミュージアムが見つかるかもしれません。

「東京国立博物館 ミュージアムヒストリー150年のあゆみ」

東京国立博物館/編 吉川弘文館 06/と



上野に所在する東京国立博物館で今日までにどんな出来事が起きていたのかを学べる本です。

所蔵している芸術品の一部や博物館の職員が行っている仕事の紹介など、この一冊にたくさんのお話があります。

心に響くことば

俵万智 歌人「人生にはいろいろなものさし、いろいろな価値基準がある。」

俵さんの豊かな感性の出発点は、高校時代に経験した失恋でした。失恋で傷ついた心に向き合う日々。そんな中、俵さんは気づくのです。「恋は勉強のように、努力すれば点が取れるものではない。どんなにがんばっても、相手の気持ちをはなれてはうまくいかない。」学校の成績というものさしだけを基準に生きてきた俵さんの価値観は、一変します。

失恋を経験したことで、心の痛みを知り、人生の視野を広げた俵さんのように、学校生活で得た経験を自分の人生を良くするための栄養にしてください。

【参考】「心に響くあの人のことば第一期①」 学研教育出版 15/こ/1-1

《俵万智さんの作品はこちら!》

- ・「サラダ記念日」 俵万智/著 河出書房新社 911/た
- ・「チョコレート革命」 俵万智/著 河出書房新社 911/た

図書室のお知らせ

もうすぐ夏休みですね。1学期中に返却しなければならぬ本はありませんか? 返却日が過ぎている本、返却日が夏休み前の本は、1学期中に返してください。

開室日は月・火・水・木・金です。

開室時間は昼休みです。

貸出冊数は最大2冊までです。

返却後は元の棚へ戻しましょう。

期限は2週間です。

期限は必ず守ってください。

まだ読みたい場合は返却後、

もう一度貸出を行ってください。

調べ物の図書、読みたい図書を、

お探しします!

お気軽に声をかけてください!